

# J A 自己改革推進レポートについて

令和5年11月24日  
J A 鳥取県中央会

## 1. J A 自己改革実践状況

### (1) J A 鳥取西部の取り組み

#### ①令和5年産「輝太郎柿」の選果

J A 鳥取西部は9月27日、あいみ果実選果場で「輝太郎柿」の初選果を行った。選果作業に先立ち、作業員らは「輝太郎柿」の目合わせを行った。出荷規格などを確認し、高品質な出荷を申し合わせた。

今年は、天候の影響で着色がやや遅れたが天候の回復とともに順調においしく仕上がった。令和5年産「輝太郎柿」は、10月25日まで選果が行われ、地元や京阪神、関東、中四国に向けて出荷された。



#### ②「農と食のフェスタ in せいぶ」を開催

J A 鳥取西部は9月27日、毎週土曜日午後6時から放送される情報番組「SOUP」内のライフアップコーナーの収録を鳥根県松江市のTSKさんいん中央テレビで行い、「農と食のフェスタ in せいぶ」のPRを行った。収録したものは、10月14日に同番組内で放送された。

同フェスタは鳥取県最大級の食のイベントとして定着。今年は10月21日、22日の両日、米子コンベンションセンター周辺や米子駅前が4年ぶりに通常開催され、2日間で約6万人が来場した。コロナ禍の影響で取りやめていた会場内の飲食スペースの設置や人気お笑い芸人のステージイベントを復活させ、幅広い年代で楽しめるイベントが行われた。無料グルメとして各日1000人に「新米おにぎり」を、リニューアルした米子駅を利用して来場された方には西部の白ねぎを使用した焼きねぎの無料券を両日先着250人に配付した。また、鳥取県と連携し、「鳥取ラーメン食べ比べフェスタ」「2023花のまつり～花パラダイス花採県～」を同時開催した。会場には農や食などに関わる100以上の飲食やPRのブースが並び、大盛況となった。



### ③令和5年産秋冬ブロッコリー 産地と市場が意見交わす

J A鳥取西部は10月17日、令和5年産秋冬ブロッコリー取引協議会を行い、販売金額10億円を目標に掲げた。令和5年産秋冬ブロッコリーの生育概況や生産出荷計画、有利販売に向けた重点取組事項などを協議し、消費者から信頼される安全・安心・高品質な出荷体制の継続と的確な情報提供、「大山ブロッコリー」の情報発信強化などに取り組むことを確認した。出荷基準等の取り組みや物流業界の「2024問題」による影響などについて産地と市場との意見交換会なども行った。



以上